



Title	ごあいさつ
Author(s)	松本, 圭史
Citation	癌と人. 2004, 31, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23687
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ごあいさつ

理事長 松本圭史*

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、財団法人大阪癌研究会に対し、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本財団は、昭和10年「癌の治療及び予防に関する研究奨励と癌の撲滅を図ること」を目的として、大阪の財界をはじめ有志の方々の熱意とご支援により、本財団の前身である「大阪癌治療研究会」が設立されました。

その後、昭和39年に、「癌に関する学術研究助成事業と癌に関する知識の啓蒙活動」を目的として改組し、「財団法人大阪癌研究会」と名称をも改め今日に至っております。

この間、深いご理解とご支援いただいた賛助会員の皆様を始め、多くのご援助いただいた方々に改めて衷心よりお礼申し上げます。

そこで、設立当時から今日までに実施してまいりました主な事業の代表例をいくつかご紹介させていただきます。

1. 昭和10年設立当時、ラジウムによる癌の治療研究とラジウムにより作成されたラドンを治療用に供し当時としては多大な成果を上げました。(昭和39年終了)
2. 昭和43年から、大阪大学微生物病研究所附属病院の協力を得て乳癌と大腸癌の集団検診を実施し、癌の早期発見に大いなる成果を上げました(平成5年終了)
3. 昭和48年より会誌「癌と人」を年1回刊行し、主として一般市民を対象として配布し、癌の知識の普及活動に鋭意努力しております。本号が第31号となります。
4. 昭和61年から、癌に関する「一般学術研究助成事業」を開始し、全国の約100の研究機関を対象に公募し、優秀な研究に積極的に助成することにより癌研究の発展の一翼を担っております。これまでに延184名の方々に総額92,000千円(平成15年3月31日現在)を助成し、現在も多くの研究者からの応募をいただいております。
5. 平成9年から、「癌シンポジウム・講演会等助成事業」を新設し、癌に関するシンポジウム・講演会・研究会等にその開催経費の一部を助成しております。これも延77件総額546,262千円(平成15年3月31日現在)を助成し、現在も実施いたしております。

今後とも、癌の研究や治療のために日夜を分かたぬ努力を続けておられる研究者・専門医の方々を支援し、また自らの健康を守るために一般人にも求められる基礎知識の啓蒙運動、早期発見や予防等に必要な社会的対策事業等を発展させていくために、ひきつづき本財団に対し、皆様方の暖かいご理解と力強いご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

* (財)大阪癌研究会理事長 大阪大学名誉教授